

## 度会町における

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

度会町教育委員会

令和6年9月

小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、度会町の児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取り組みを以下のとおりまとめました。

「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されている全国調査です。また、そのような取り組みを通じて、よりよい教育のための継続的な検証改善サイクルを確立することが目的です。

しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校及び家庭や地域での教育活動における数値化可能な部分の一側面です。このことを今回の調査において十分考慮し、今後の当町の教育の一層の充実を図っていくことが大切です。

## 1. 調査の概要

### (1) 調査日

令和6年4月18日（木）

### (2) 対象者

度会小学校6学年（54名）・度会中学校3学年（69名）で実施

### (3) 対象科目等

小学校：国語・算数

中学校：国語・数学

### (4) 調査内容

#### ①教科に関する調査

ア) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

上記の2点を一体的に問い、検証を行うことにより、教科指導や学習状況の改善につなげる。）

#### ②生活習慣や学習環境等に関する調査

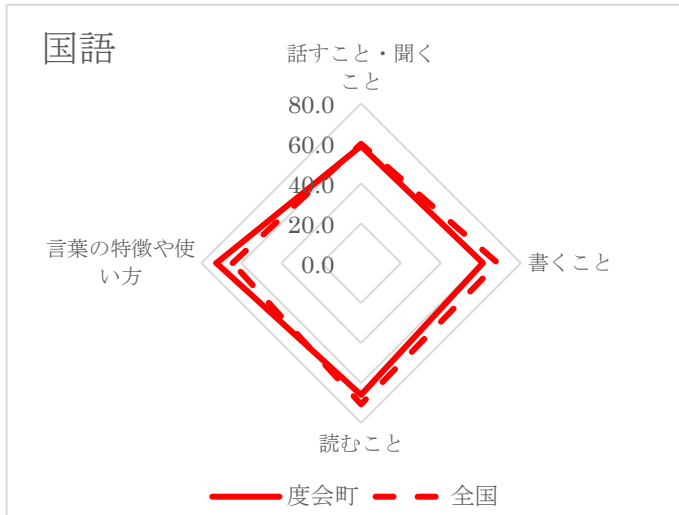
ア) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する状況等を確認・把握する。（児童・生徒質問紙）

イ) 学校における指導方法に関する取組や学校における人物・物的な教育条件の整備状況等の確認・把握する。（学校質問紙）

## 2. 教科別概要

### (1) 小学校国語

#### ■領域別平均正答率の状況



#### ■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

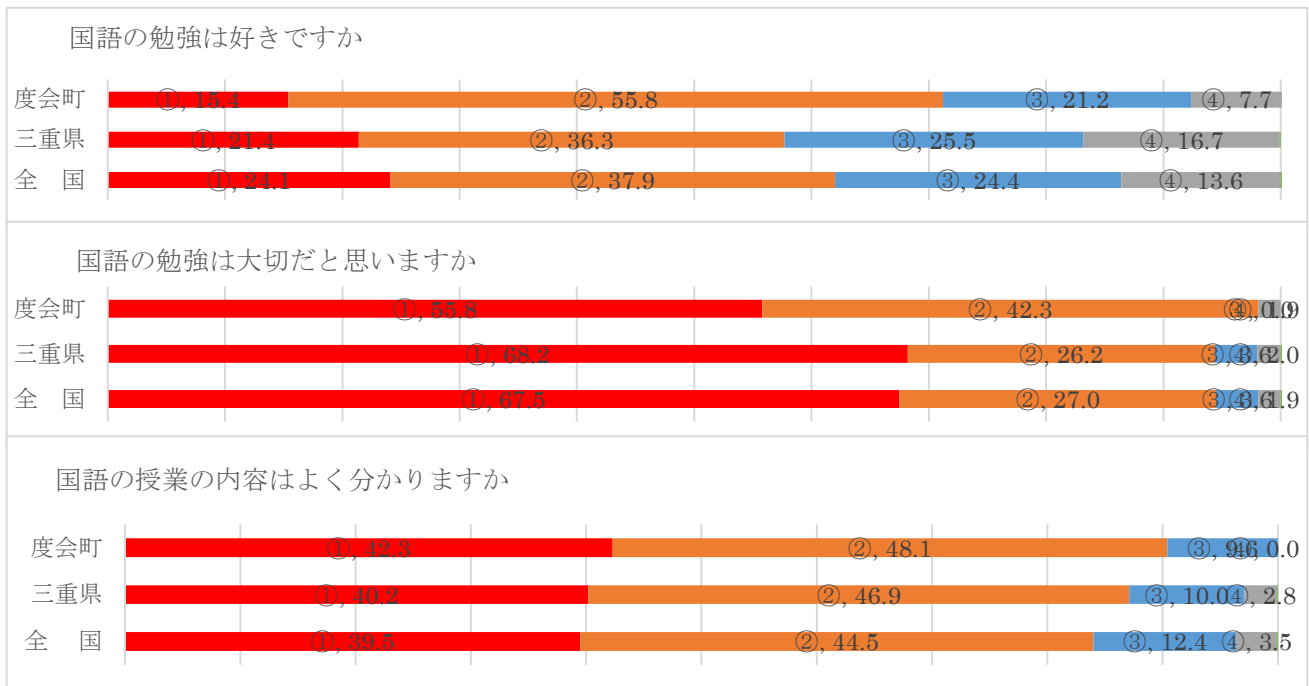
○送り仮名に注意して、文の中で使うのに適切な漢字を選択する力 (言葉の特徴や使い方)  
(町 72.0% 県 38.5% 全国 43.4%)

○目的や意図に応じ、話題を決め、伝え合う内容を検討する力 (話すこと・聞くこと)  
(町 74.0% 県 61.6% 全国 62.5%)

△人物像を具体的に想像する力 (読むこと)  
(町 60.0% 県 72.0% 全国 72.5%)

△目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力 (書くこと)  
(町 46.0% 県 57.5% 全国 56.6%)

① 当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない



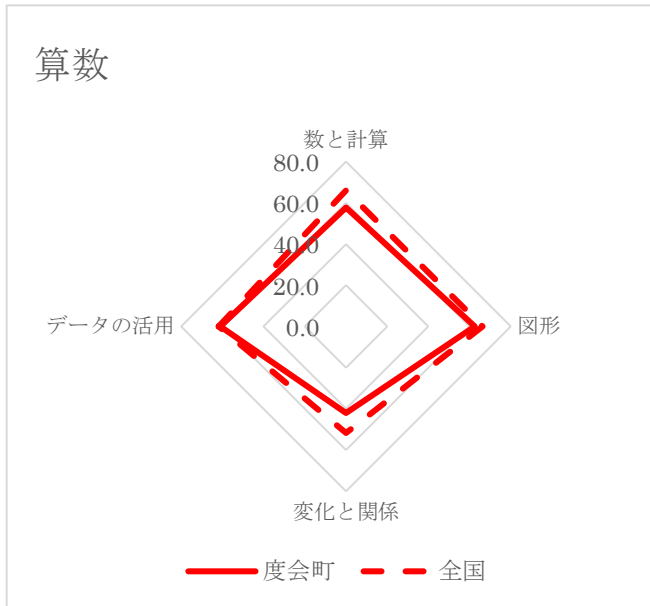
#### ■全体的傾向と課題

- ・「国語の勉強は好きですか」「国語の勉強は大切だと思いますか」「国語の授業の内容はよく分かりますか」という問いに対し、①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる と回答した児童をあわせた割合が、県・全国と比べて高くなっています。
- ・言葉の特徴や使い方に関する事項については、概ね身につけています。
- ・目的や意図に応じ、話題を決め、伝え合う内容を検討する力がついてきています。
- ・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き

表し方を工夫する力は、県や国と同様経年的な課題となっており、力を伸ばしていく必要があります。

## (2) 小学校算数

### ■領域別平均正答率の状況



### ■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

○円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができる力 (データの活用)

(町 88.0% 県 81.6% 全国 80.8%)

○速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる力 (変化と関係)

(町 76.0% 県 71.2% 全国 70.0%)

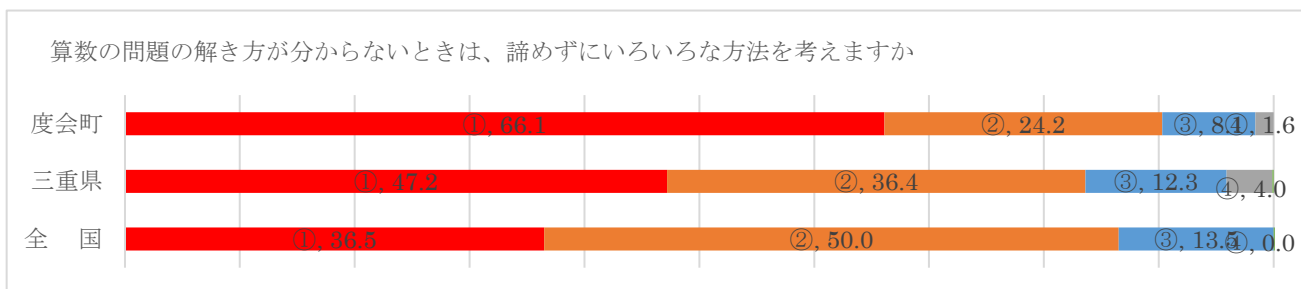
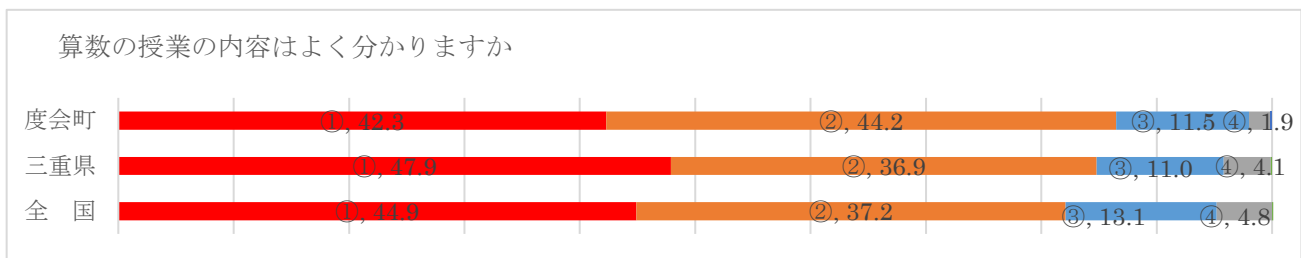
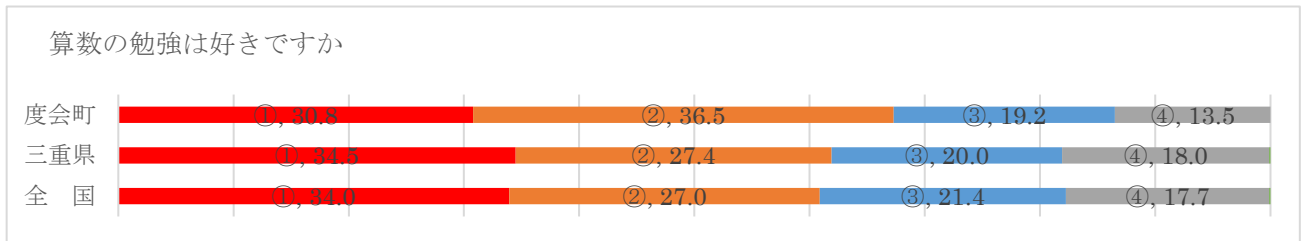
△問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができる力 (数と計算)

(町 44.0% 県 58.8% 全国 62.1%)

△玉の直径の長さ と立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる力 (図形)

(町 20.0% 県 33.7% 全国 36.5%)

① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない

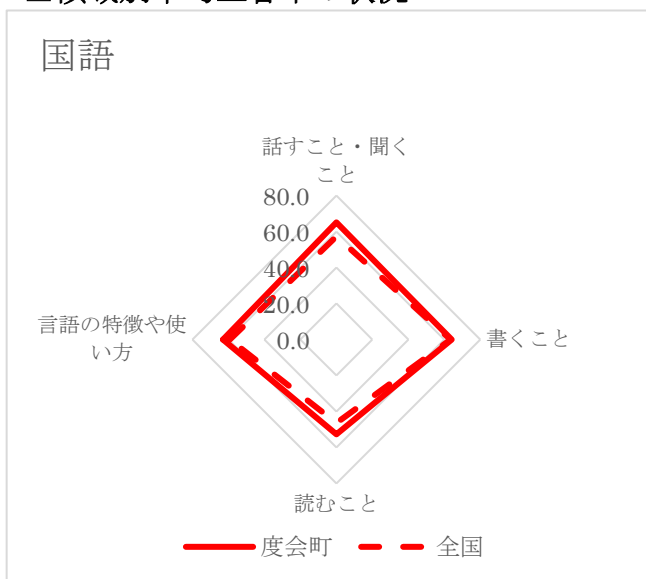


## ■全体的傾向と課題

- ・「算数の勉強は好きですか」「算数の勉強は大切だと思いますか」「算数の授業内容はよくわかりますか」という問いについて、①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる と回答した児童をあわせた割合が、県・全国と比べて高くなっています。
- ・円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができる力がついてきています。
- ・多くの問題で正答率が県・全国平均を下回っています。各学年での学習内容全般についてより理解、定着を深め、適用力を高めていく必要があります。

## (4) 中学校国語

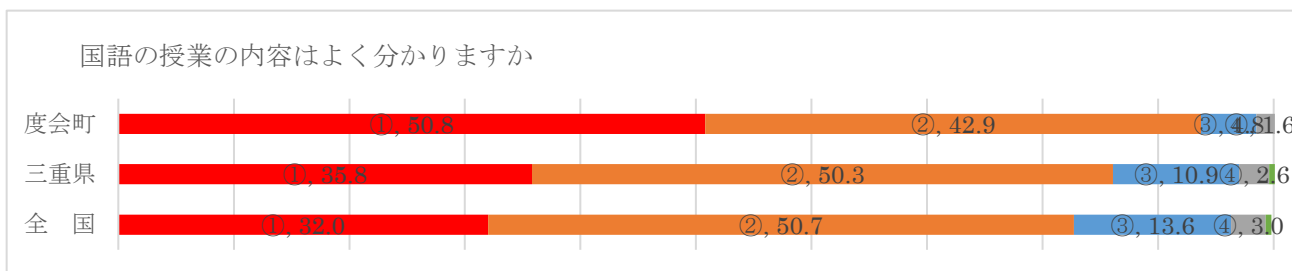
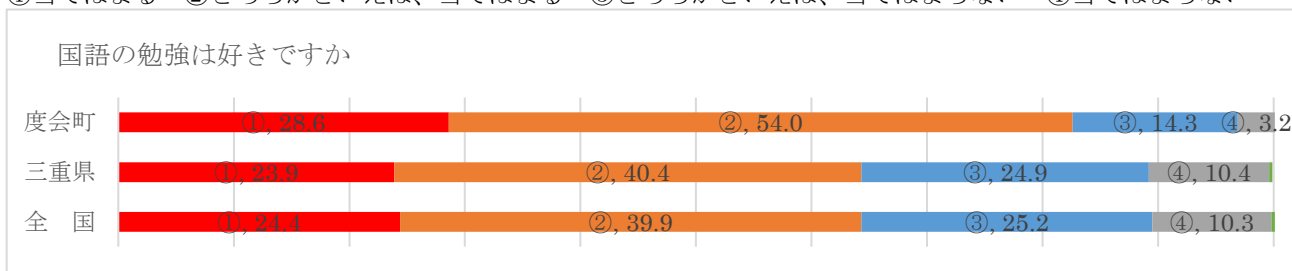
### ■領域別平均正答率の状況



### ■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

- 必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができる力 (話すこと・聞くこと)  
(町 76.6% 県 62.3% 全国 63.2%)
- 話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめる力 (話すこと・聞くこと)  
(町 56.3% 県 43.2% 全国 44.7%)
- 短歌の内容について、描写を基に捉えることができる力 (読むこと)  
(町 62.5% 県 48.3% 全国 48.3%)
- △表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる力 (書くこと)  
(町 40.6% 県 46.2% 全国 49.3%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない



国語の授業では学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか

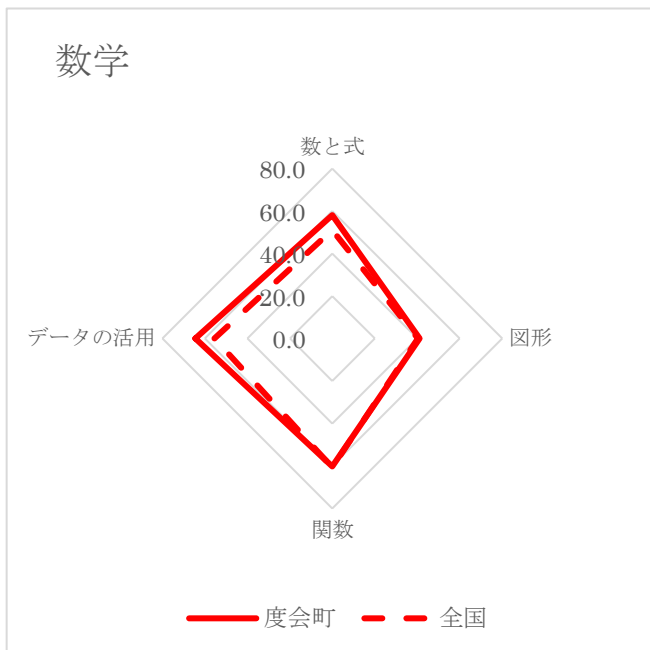


### ■全体的傾向と課題

- ・「国語の勉強が好きですか」「国語の授業の内容はよく分かりますか」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立ちますか」という問いに対し、①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる と回答した生徒を合わせた割合が、県・全国と比べて大幅に高くなっています。
- ・必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができる力や他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめる力が付いてきました。
- ・短歌について、表現の技法について理解し、描写を基に内容を捉えたりすることができる力がついてきています。
- ・表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる力をさらにつけていく必要があります。

## (5) 中学校数学

### ■領域別平均正答率の状況

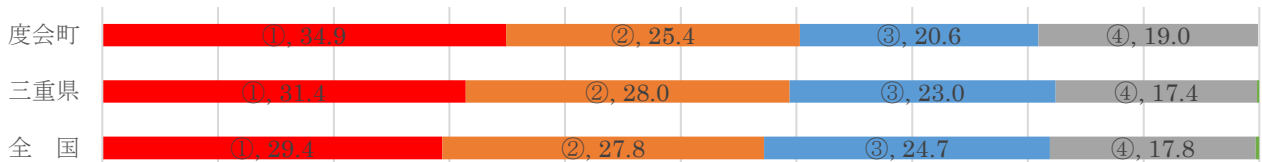


### ■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

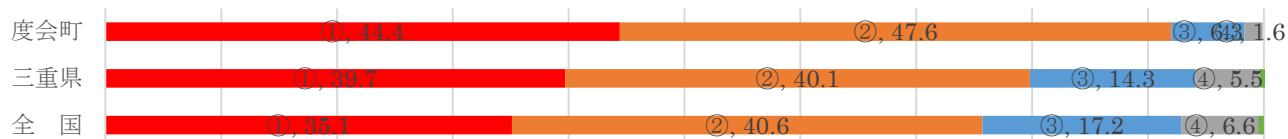
- 与えられたデータから最頻値を求めることができる力 (データの活用)  
(町 87.5% 県 79.0% 全国 74.3%)
- 複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができる力 (データの活用)  
(町 64.1% 県 51.9% 全国 48.5%)
- 問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができる力 (数と式)  
(町 90.6% 県 89.8% 全国 90.2%)
- △事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる力 (図形)  
(町 9.4% 県 17.1% 全国 17.1%)

① 当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

数学の勉強は好きですか



数学の授業の内容はよく分かりますか



数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか



- ・「数学の授業の内容はよくわかりますか」「数学の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」という問いに対し、①当てはまる ②どちらかといえば当てはまると回答した生徒をあわせた割合が、県・全国と比べて高くなっています。
- ・データの活用に関する問題では、すべての問題において県・全国と比べて正答率が高かったです。
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題については、県・全国と同様に理解を深める必要があります。

## (6) 各教科平均正答率の状況

<小学校>

(%)

| 平均正答率 | 国 語    | 算 数    |
|-------|--------|--------|
| 度 会 町 | 6 8    | 5 7    |
| 三 重 県 | 6 7    | 6 2    |
| 全 国   | 6 7. 7 | 6 3. 4 |

<中学校>

(%)

| 平均正答率 | 国 語    | 数 学    |
|-------|--------|--------|
| 度 会 町 | 6 2    | 5 7    |
| 三 重 県 | 5 7    | 5 3    |
| 全 国   | 5 8. 1 | 5 2. 5 |

### 3. 児童生徒質問紙調査の概要

児童生徒質問紙は、児童生徒の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。

生活全般の諸側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境に関わること等への問いがあります。各教科に関する主な質問紙調査結果については、2. 教科別概要でも掲載しています。

この項では、「豊かな人間性・学校生活・家庭生活（生活習慣・学習習慣）・ICT機器の活用について」の4つの項目に係る主な調査結果と傾向について記載しました。

なお、特別に記載のない質問項目については、「している」「どちらかと言えばしている」又は、「当てはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答した割合の合計を記載しています。

#### 【豊かな人間性】

(%)

| 質問項目                  |   | 度会町   | 三重県  | 全国   | 全国比  |
|-----------------------|---|-------|------|------|------|
| 自分には良いところがあると思いますか    | 小 | 90.4  | 82.4 | 83.4 | 7.0  |
|                       | 中 | 87.3  | 83.8 | 83.3 | 4.0  |
| 人が困っているときは、進んで助けていますか | 小 | 100.0 | 93.1 | 92.7 | 7.3  |
|                       | 中 | 95.3  | 90.4 | 90.1 | 5.2  |
| 将来の夢や目標をもっていますか       | 小 | 82.7  | 80.6 | 82.4 | 0.3  |
|                       | 中 | 77.8  | 67.5 | 66.3 | 11.5 |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか   | 小 | 96.2  | 96.1 | 95.9 | 0.3  |
|                       | 中 | 98.7  | 94.5 | 95.2 | 3.5  |

- ・自分には良いところがある（自己肯定感）という問いに対して、県・国よりも高い傾向が見られました。
- ・人が困っているときは進んで助けますかという質問では、小学校のすべての児童が当てはまるまたはどちらかといえば当てはまると回答しました。
- ・将来の夢や目標については、中学校において県、国の平均より大幅に多くの生徒が持っていると回答しました。

#### 【学校生活】

(%)

| 質問項目                                |   | 度会町  | 三重県  | 全国   | 全国比  |
|-------------------------------------|---|------|------|------|------|
| 学校に行くのは楽しいと思いますか                    | 小 | 88.5 | 84.0 | 84.8 | 3.7  |
|                                     | 中 | 85.7 | 85.4 | 83.8 | 1.9  |
| 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか           | 小 | 78.8 | 74.5 | 75.8 | 3.0  |
|                                     | 中 | 84.1 | 77.6 | 76.2 | 7.9  |
| 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか | 小 | 63.4 | 65.9 | 67.1 | -3.7 |
|                                     | 中 | 74.4 | 69.7 | 67.5 | 6.9  |

- ・「学校に行くのは楽しい」と回答する児童生徒の割合が県・国よりも高い傾向が見られます。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答する児童生徒の割合が県・国よりも高い傾向が見られます。特に中学校においては、話し合い活動を積極的に取り入れている成果が見られます。

- ・自分が困ったり不安になったりした時に相談できる大人が学校にいる、と考えている児童生徒の割合が、小学校と中学校で差が見られました。中学生において割合が高い傾向が見られます。

### 【家庭生活（生活習慣）】

(%)

| 質問項目   |   | 度会町  | 三重県  | 全国   | 全国比   |
|--|---|------|------|------|-------|
| 朝食を毎日食べていますか   | 小 | 96.1 | 93.5 | 93.7 | 2.4   |
|  | 中 | 93.7 | 91.6 | 91.2 | 2.5   |
| 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか   | 小 | 84.6 | 82.1 | 82.9 | 1.7   |
|  | 中 | 84.1 | 81.7 | 80.7 | 3.4   |
| 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか  | 小 | 96.2 | 91.6 | 91.6 | 4.6   |
|  | 中 | 98.4 | 93.1 | 92.5 | 5.9   |
| 普段1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（学習やゲームの時間は除く2時間以上の割合） | 小 | 26.9 | 34.9 | 33.8 | -6.9  |
|  | 中 | 33.3 | 59.7 | 55.9 | -22.6 |

- ・朝食を毎朝食べている児童生徒は小学校・中学校ともに90%を超えていますが、特に小学校において高い傾向です。
- ・毎日同じくらいの時刻に就寝して、同じくらいの時間に起床すると回答した児童生徒が県、全国よりも高い傾向です。
- ・スマートフォンの利用について、県、全国に比べ節度を守って使用している傾向です。

### 【家庭生活（学習習慣）】

(%)

| 質問項目   |   | 度会町  | 三重県  | 全国   | 全国比   |
|--|---|------|------|------|-------|
| 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか      | 小 | 76.9 | 80.2 | 80.7 | -3.8  |
|  | 中 | 98.4 | 96.7 | 96.7 | 1.7   |
| 平日、学校以外での1日あたりの学習時間（塾・家庭教師等含む）（1時間以上と回答した割合）           | 小 | 57.7 | 50.6 | 54.6 | 3.1   |
|  | 中 | 69.9 | 63.2 | 64.3 | 5.6   |
| 土日や休日の、1日あたりの学習時間（塾・家庭教師等含む）（2時間以上と回答した割合）             | 小 | 9.6  | 15.7 | 21.5 | -11.9 |
|  | 中 | 27.0 | 28.8 | 36.2 | -9.2  |
| あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書はのぞく）（100冊以上と回答した割合） | 小 | 34.6 | 30.0 | 31.9 | 2.7   |
|  | 中 | 34.9 | 27.2 | 28.3 | 6.6   |

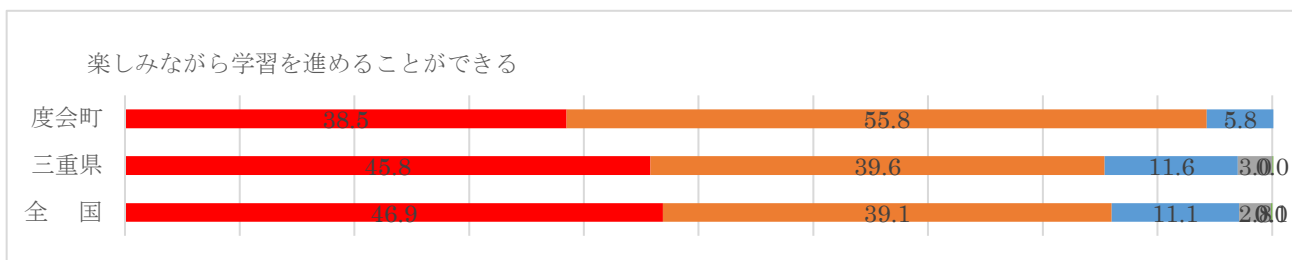
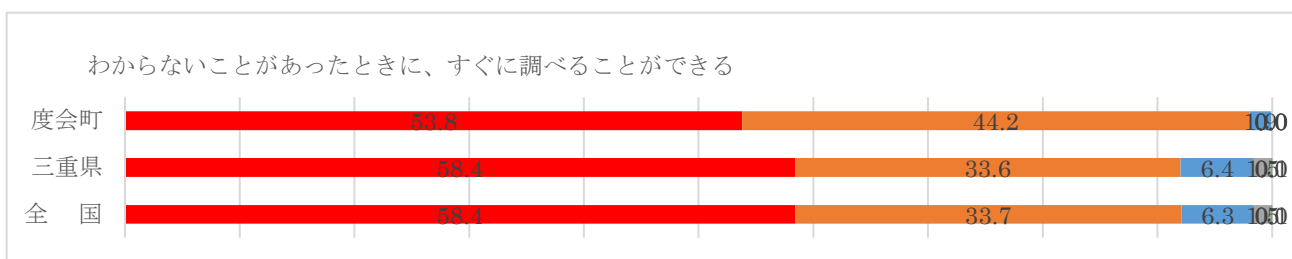
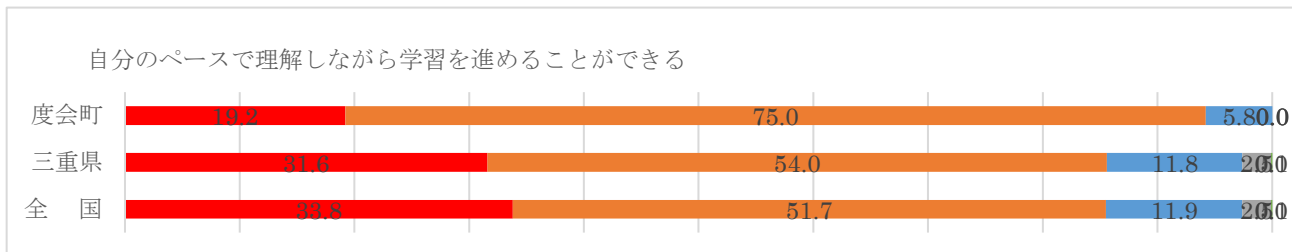
- ・「計画立てて家庭学習をしている」と回答した割合は、小学校では県・国よりも低く、中学校では少々高い傾向です。
- ・平日の学校以外での学習時間は、県・国よりも長い傾向です。



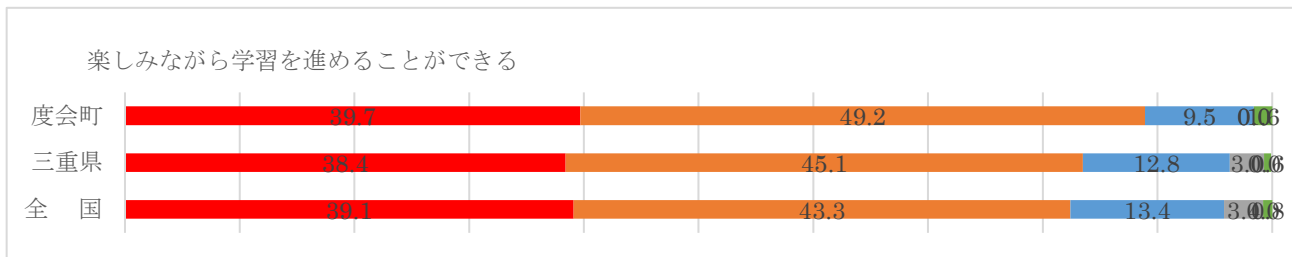
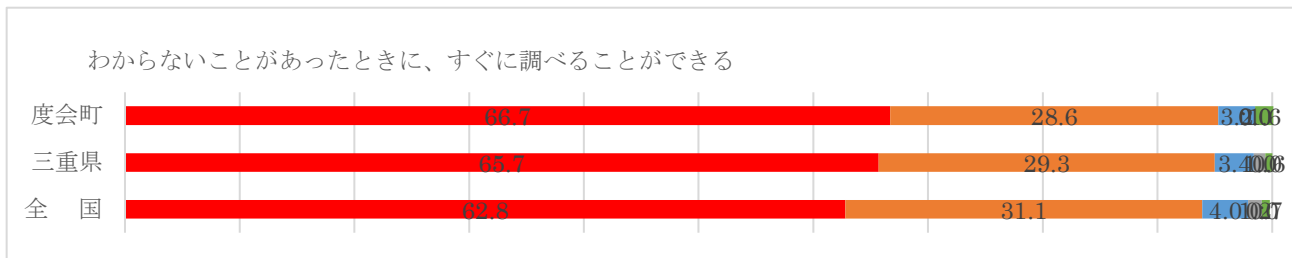
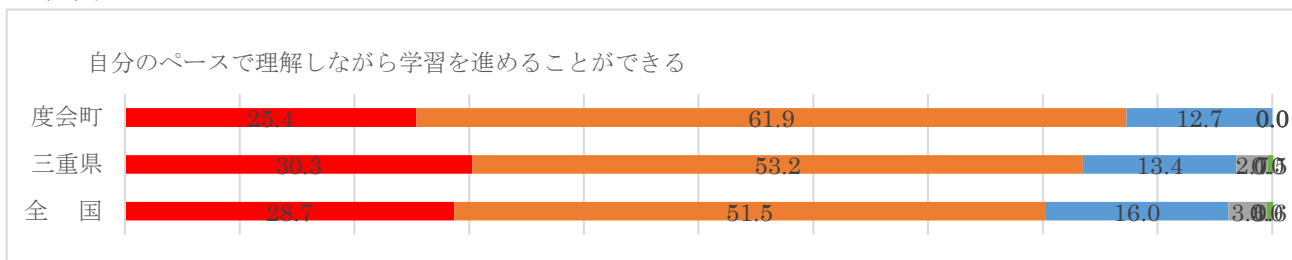
・学校が休みの日の学習時間は、小学校・中学校ともに県・国より大幅に短い傾向です。

## 【ICT 機器の活用について】

### ○小学校



### ○中学校



- ・小学校、中学校ともに県、国の平均よりも ICT 機器を活用して自分の学習を進めている傾向が高いです。とりわけ、「楽しみながら学習を進めることができる」項目において高い回答がありました。

#### 4. 全国学力学習状況調査を踏まえた今後の取り組みについて

小学校では、継続的な取組として朝の学習時間を有効活用しています。落ち着いた気持ちで読書をしたり、定着しきれていない箇所の反復練習をしたりすることにより、授業への集中、基礎学力の向上など、学習効果が上がっています。また、各学年に応じた家庭学習の提示とともに、「家庭学習の手引き」を配布することでご家庭と連携し、継続した子どもの学びの実現に向けた取り組みを行ってきました。

中学校では、「W-S T Y L E（わたらいスタイル）」に沿って、生徒自らが規律を守ることとで相手を思い合い、居心地がよく安心して学ぶことができる環境づくりとともに、生徒自らが学びに向かい、継続して学び続けようとする姿をめざして、教職員の指導の統一化の徹底を図ってきました。

小中学校において、ICT 機器を積極的に活用した授業を行っています。家庭への持ち帰りも積極的に行い、家庭学習や自主学習等学びのツールとしても子どもたち自らが効果的に活用するスキルが向上しつつあります。また、中学校において今年度からは朝の学習で ICT を活用し、自分の苦手な単元を中心に自分のペースで学習を進める活動を行っています。成果が出てくるまで時間はかかりますが、着実に力をつけていっています。

さらに、算数・数学の授業において、習熟度別の学習を行っています。既習事項の定着度や理解度に応じたクラス分けを行うことで、じっくり考えたり、いろいろな問題を解いたりして、子どもたちが意欲的に学習に取り組む姿が多く見られるようになってきました。

主体的・対話的で深い学び・途切れない学びの実現を通し、一人ひとりの学力向上、誰ひとり取り残さない教育の充実を目指しています。

今回の調査で見えてきた子どもたちの姿をふまえ、今年度からは一小一中の強みを生かして義務教育9年間を系統立てて成長を促していく一貫教育の構築を始めていきます。その一貫教育を柱として、学校・家庭・地域が更なる連携を図り、子どもたちが「度会町で学ぶ」学習環境・学習内容の充実に取り組んでいく必要があります。

ご家庭や地域の皆さまには、今後も教育活動へのご理解・ご協力とともに、ご家庭や地域における子どもたちの成長へのサポートを、これからもよろしくお願いいたします。